



東の博士たち

1月6日は顯現日です。救い主が異邦人に姿を現わされたことを記念する祝日です。今日は、赤ちゃんとイエスにまみえた東方の博士たちの生き様から、今日の教会の歩みについて考えてみましょう。

があつた所です。

神のリーダーシップ

だから、ユダヤ人にとって、

東の方の人々はあまり快く思わない人々であります。

また、「博士」という言葉です。

原語はギリシア語で「マゴス」

ですが、英語の

先月、クリスマスをお祝い

さて、イエスが生まれた時、博士たちは、東の方から星に導かれてエルサレムにやって来ました。この「東の方」とは、今日のイランあるいはイラク辺りで、かつては、神殿を破壊してイスラエルを滅ぼしたアッシリア帝国や新バビロニア帝国と呼ばれた大帝国があつた所です。

彼らは、星占いの魔術師で、大金持ちでしたから、星占いなどで商売をして大きな利益を得ていたと思われます。このように、博士たちは、ユダヤ人にとっては憎むべき人々であり、不信仰で、また星占いで商売をする、救われるはずのない連中だったので

「星に導かれて生きる」

司祭 ヨハネ 芳 我 秀 一

日本聖公会 神戸教区報

神のおとずれ

2013年
1・2月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<http://www.nskk.org/kobe/>

発行責任者
司祭 芳我秀一

印刷所
文明堂印刷所

「マジック」の語源になつた言葉で「魔術師」のことです。彼らは書斎に閉じこもつて読書するような頭でつかちの学者ではありません。おそらく、

人は「自分は絶対に正しい」を返せば、そうでない人間を見くだしているのです。わたしたち教会もこの過ちを犯してはいないでしょうか。ところが、博士たちは、高い所に立っていません。彼らは誰かの助けを求めていました。彼らは星占いをしながらも、自らの人生に迷つて救い主を求めていたのです。そんな時、先ず星が現れて、その星の光が彼らを照らしたのです。星が現れなければ何も起らなかつたでしょう。しか

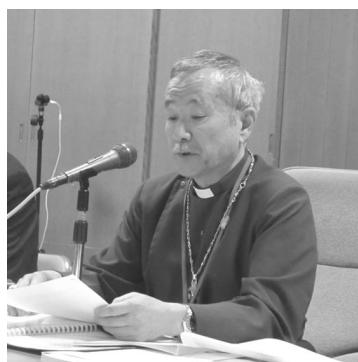
し、神から遠く離れて、決して救わることのないと思われていた彼らが、星に導かれていった御子に出会うことが出来たのです。これは、神の招きであつて、神自らが博士たちに会つて下さったのです。

三宮の繁華街で酔っ払つて騒いでいる人の所には本当のクリスマスなどあるはずがないと思つていいでしようか。人は「自分たちは、正しくクリスマスを祝つている」と思い込んでしまいがちですが、裏でやろうとか、信徒の数を増やそうなどとあれこれ考へて実行します。が、結果は出ません。なぜなら、宣教の真の主は神だからです。あの時に星を現されたのは神でした。ある日曜日。主日礼拝に初めての方が出席されていました。ところが、その日は教会の行事で忙しくて、初めての方を紹介することを忘れてしまいました。気づけばその方は既にいませんでした。教会に求められることは、神が先ず御手を差し延べて下さるよう祈り、博士たちのように、必ず神が与えて下さる「しるし」をしっかりと受けとめることではないでしょうか。

教会の姿勢

神戸教区第80定期教区会

神戸教区 主教開会演説



實勲兄（広島復活教会信徒）
は教区神学生に認可され、ウ
イリアムス神学館に入學しま

また、元八代高校チャプレンで姫路顯栄教会牧師であられました松本文司祭（横浜教区退職司祭）は9月21日（金）逝去されました。享年93才。

II 行事報告

主教座聖堂付となり、神戸国際大学付属高等学校非常勤チヤブレンに就任し、主日には、神戸伝道区各教会で勤務しております。

①阪神・淡路大震災17年記念
礼拝が、1月17日(火)午前10時半より神戸聖ヨハネ教会で行われた。

IV
その他報告

九州教区が実施しておりました、フィリピン聖公会中央教区ワーケキャンプには、これまで神戸教区教役者・青年信徒も参加しましたが、人的・財政的問題が生じ、今後の在り方について、8月9日長崎で、九州教区五十嵐主教及び沖縄教区関係者と協議しました。その結果、三教区協働プロジェクトと位置づけることで合意し、10月15日開催の常置委員会でこれが了承され、ワークキャンプ実行委員に長田吉史司祭を任命しました。キャンプは、来年3月に実施される予定で、現在、参加者を募っております。

昨年度の教区会で、私はパイプオルガンの導入について教区関係各位の理解をお願いいたしました。これに従い、教区会報告書にも記載されておりますように、主教諮詢機関であるパイプオルガン選定委員会が発足し、パイプオルガン選定作業、購入費用、維持・管理経費などを検討していただきました。同時に、パイプオルガン献金を軽減するために、関係各位に協力をお願いし、米子聖ニコラス教会により、現在約三七〇〇万円の献金(含予定)が献げられております。今教区会で購入議案が承認された場合、来年早々より、パイプオルガン購入及び管理・維持のため、八〇〇万円募金を開始することになります。

パイプオルガンは、来年に大聖堂に設置される予定ですが、これによって、オルガニストの演奏技能向上や養成が実施され、礼拝が、より洗練されると同時に、オルガン音

III 東日本大震災関連報告

来年度に向けての 神戸教区の姿勢

昨年度の教区会で、私はパイプオルガンの導入について教区関係各位の理解をお願いいたしました。これに従い、教区会報告書にも記載されておりますように、主教諮詢機関であるパイプオルガン選定委員会が発足し、パイプオルガン選定作業、購入費用、維持・管理経費などを検討していただきました。同時に、パイプオルガン献金を軽減するために、関係各位に協力をお願いし、米子聖ニコラス教会により、現在約三七〇〇万円の献金(含予定)が献げられております。今教区会で購入議案が承認された場合、来年早々より、パイプオルガン購入及び管理・維持のため、八〇〇万円募金を開始することになります。

パイプオルガンは、来年に大聖堂に設置される予定ですが、これによって、オルガニストの演奏技能向上や養成が実施され、礼拝が、より洗練されると同時に、オルガン音



今教区会では、昼食後、各教会宣教委員会などで協議された宣教ビジョン策定と具体的な計画の進捗状況の発表が行われます。これを踏まえ、来年度の各教会受聖餐者総会において、宣教のビジョンと、これに基づく具体的な計画を決議することを期待しています。ビジョンを掲げるために、教会に関わる多くの人たちが、互いに胸襟を開き、忌憚のない意見交換などを通して、今教会が置かれている状態の認識が深められたことと思いま

②教会の宣教と協働体制

②教会の宣教と協働体制
コンサートを通して、多くの
人たちに宗教音楽に触れる機
会が与えられることを期待し
ております。

す。その結果に基づいて作成される宣教の具体的計画実現のために、牧師と信徒、信徒間の結束、知恵の結集が不可欠です。

が約八〇〇万円に達しました。これに加え、神戸教区の一名の聖職候補生と二名の神学生計三名が神学教育を終えて、教区に派遣されるとしますと、教区財政はますます困窮する

③女性への暴力などの反対アピールと適切な保護・援助キャンペーン

す。その結果に基づいて作成される宣教の具体的計画実現のためには、牧師と信徒、信徒間の結束、知恵の結集が不可欠です。

一九六三年、カナダのトロントで開催された第二回アングリカン・コングレスで、ラムゼー・カントベリー大主教は、他教会、他教区との協働体制構築の必要性を全聖公会に訴えるため、「おのれのためにだけに生きる教会はおのずから死にたまる。」と述べ、「キリストのからだにおける相互責任と相互依存(M R I)」という画期的な発想を全聖公会に提示しました。これに基づき、多くの教会が提携関係を結びました。残念ながら、特に、財政的見地からは、貧しい教会が、豊かな教会に一方的に依存してしまい、この姿勢が、教会の自給・自立を妨げる要因となりました。この反省を踏まえて、現在では互いの弱さを補うために、教会や教区同士が宣教の互恵関係を結んで実施する、「宣教における協働(P I M・パートナーズ・イン・ミッショն)」が全聖公会内で奨励され、多くの教区・教会で実施されております。

が約八〇〇万円に達しました。これに加え、神戸教区の一名の聖職候補生と二名の神学生会に派遣されるとしますと、教区財政はますます困窮すること是明らかです。

翻つて、神戸教区に聖職志願者が絶えないという事実は、神戸教区には、まだまだ教役者の人材が必要であるという精神のしるしとして捉えなければなりません。従いまして、今後教区で求められるのは、教育と教区財政安定化です。

経験の浅い教役者を育てるためには、まず教役者自身が一国一城の主であるという意識を捨てて、他の教役者と協働して、宣教の業を遂行しようとする姿勢が求められます。

近い将来、教会相互の宣教活動がより活発になり、牧師・信徒が活かされ、信仰生活がより豊かになるために、数名の教役者がチームを組んで、複数の教会を司牧するという体制が、伝道区単位などで構築されるよう希望します。一方、このような体制への移行は、各伝道区で核となる教会の財政負担が増大することが予想されます。

来年度、教区の宣教委員会や財政委員会などで、この問題について協議していただく

③女性への暴力などの反対アピールと適切な保護・援助 キャンペーン 每年11月25日から12月10日までの16日間、「ジェンダーバイオレンス」と闘う16日間キャンペーン」が展開されており、国際聖公会女性ネットワーク（AWN）もこれに参加しております。

「女性は、低賃金で働くばかり、教育を受ける機会に乏しく、意思決定の場への参加の機会が少なく、多世界の各地で貧困に苦しんでいる現実を直視する必要があります。弱い立場に置かれている女性への暴力は、レイプやドメスティックバイオレンス、戦争犯罪としての性暴力、また児童婚や女性性器切除などの有害な伝統慣行として、さまざまな形で現れています。」

（教区主教に寄せられた管区女性に関する課題担当者の要請文より）

に乗っていたところ、パキスタン・タリバン運動（TTP）のゲリラが乗り込んで、彼女めがけて発砲し、頭部や首を銃撃され重傷を負い、別の女子生徒2人も負傷しました。ユスフザイさんは、タリバンが女性の就学を禁じた一年後の11歳の時から、パキスタンのタリバン勢力の脅威にさらされた学校生活や意見をブログにつづっていたそうです。これを看過できないとみたタリバンは彼女を標的にした結果、このような悲劇が起きました。

今から一二〇年前、松蔭女子学院創設に関わったオス主教初め、英國人女性宣教師や、東京教区聖愛教会信徒で津田塾の創立者津田梅子さんは、女性の地位向上こそ日本の発展につながると信じ、女性の高等教育に生涯を捧げた人たちです。女性が教育を受けることが、国への貢献や発展につながらないという思想や主義を否定すると共に、神戸教区に関わる全ての人たちが、弱い立場に置かれている女性に対する認識を新たにすると共に、教区内の組織により多くの女性が参加することを期待し、開会演説を終わ

主教さま、堅信五〇年おめでとうございます

教区主任 ジョージ 大東正人

私達兄弟は、教区会で中村主教様より、堅信五〇年のメッセージと記念品を頂きました。

五〇年前、明石聖マリヤ・マグダレン教会には、五、六人の中高生がいました。ある日、牧師の八代欽一司祭から堅信を勧められ、その意味もよく理解しないまま、大人の仲間入りができる晴れがましい気持ちで、握手を受けた記憶があります。イガグリ坊主リと重かったことを覚えていきます。夏休み前の暑い日のことでした。

その時、隣に並んでいたのがユーさんで、将来牧師になるとは、ましてや主教様になつて堅信五〇年のメッセージを頂くことになるとは、当時は想像だに出来ませんでした。



教会で、子供達が堅信を受けることが出来ました。教会こそ違え、私達が教会生活を続けてこられたのも、神さまの大きなお導きとともに、私たち家族を受け入れてくださった教会の皆様のおかげでだと思います。

そして定年の歳になって、神戸へ戻り、教区事務所で主教さんとご一緒にすることになります！

今、一緒に堅信を受けた、当時のイガグリ坊主達から感謝を込めて、主教さんにも堅信五〇年のお祝いを申し上げます。

宣教協議会・高松聖ヤコブ教会の取り組み

ベタニヤのマリア 三家丸永子

私たち聖ヤコブ教会では、宣教協議会を3回開き、これから宣教について話し合いをしました。

第一回目では、地域との交わりについて話し合い、ここ数年定着しつつある、ヤコブの日に一番近い主日に、ミニコンサート開催、幼稚園保護者のコーラスクラブ出演)

に、フリーマーケットの開催を取り入れ、近隣の住民にも出店勧誘、また『聖ヤコブ祭り・ミニコンサートとフリー

マーケット』というタイトルで、チラシ約1000枚を近隣の家々にポスティングしました。

当日は、大勢の人々の参加があり、盛会ではありました

が、近隣住民の参加人数は不明、大半が幼稚園保護者だったようです。

そして主日の礼拝に、幼稚園の保護者が出席しやすいようには、どのような工夫が出来るかということで、

月に一度、主日の聖餐式と、未信徒でもなじみやすい、朝の礼拝の両方を捧げることができないかという提案をしましたが、これも司祭、信徒ともに話し合いを重ね、慎重に進めていく必要があります。このようないく取り組みについて、企画委員会で話し合いました。

一つはウイークデイに地域の住民、幼稚園の保護者、教会信徒が共に憩える場所として『ヤコブ・カフェ』を開けないかということです。これが、これは

人員の確保、準備不足のため、実施にはまだ時間がかかりそ

うです。

また幼稚園保護者の集会などに、教会集会室を利用していきましたが、手作り講習会などの案内を、定期的に教会から発信し、教会集会室をコミュニケーション的な交わりの場として活用することです。

神戸聖ミカエル大聖堂 パイプオルガン献金のお願い

オルガン設置費用総額 4000万円 維持管理費 500万円
計 4500万円

現在までのオルガン献金 3700万円

パイプオルガン献金 800万円

(内訳 パイプオルガン購入不足金300万円・維持管理基金500万円)
献金期間 2013年2月2日より2013年5月19日(聖靈降臨日)まで
献金方法

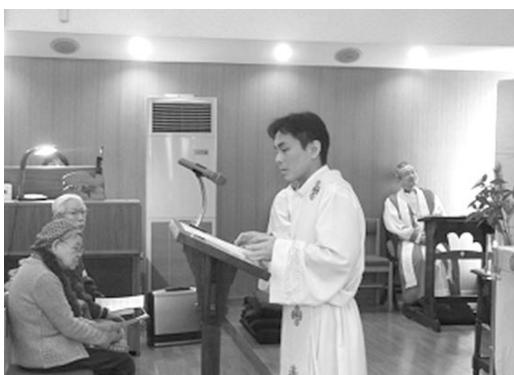
1. 配布された献金袋にて、各教会の礼拝時に献げて頂く
 2. 郵便振込用紙を用いて直接、教区に献金して頂く
- 郵便振込口座 01190-5-43427 加入者名 日本聖公会神戸教区
※詳細については神戸教区事務所(078-351-5469)までお問い合わせ下さい。

(高松聖ヤコブ教会信徒)

阪神淡路大震災18年

ーしあわせ、運べるようにー

あの大地震から18年、教区主催の「阪神淡路大震災18周年追悼礼拝」が、毎年、被災地・神戸が祈りに包まれる1月17日(木)に、神戸聖ヨハネ教会(阪神淡路大震災復興記念聖堂)で捧げられました。



震災発生時(早朝5時46分)には、默想による「追悼の祈り」と点鐘。午前10時半からの追悼聖餐式は、中村教区主教の司式、説教者は、震災当时、大学生だった中原司祭(神戸聖ペテロ教会牧師)。十字架の道を歩まれるイエスを

三度否んだ聖ペテロの姿を引用し、「イエスの傷によって人々を癒されたように、神戸の傷が傷ついた人々を癒すのです」

と同司祭は会衆に語りかけられました。

震災の記憶の風化が懸念される神戸の子どもたちに歌い継がれている歌があります。

「しあわせ運べるように」。

作詞・作曲は震災当時、神戸の小学校で音楽の先生だった白井真さん。吉村誠司氏

OPEN JAPAN代表によれば「この歌は、【神戸】の箇所を【ふるさと】に入れ替えて、東日本大震災の被災地の子供たちによって歌われています」とのこと。

♪地震にも負けない
絆をつくり響きわたれ
僕たちの歌生まれ変わる
神戸のまちに届けたい
わたしたちの歌しあわせ、運べるよう♪

キリストの教会が、イエスさまの福音という幸せを運べますように、と願いつつ、午後の点鐘の後、一同でこの歌を歌って散会しました。「又、来年の1月17日を忘れることがなく、共に礼拝を捧げましょう」と。

(神戸聖ヨハネ教会 司祭 藤井尚人)

『第50回記念中高生大会』に向けて

中高生チャップラン 司祭 ヨシュア 長田 吉史



日程: 2013年

8月12日(月) ~ 15日(木)

(一般参加者の方々)

8月12日(月) ~ 13日(火)

会場: 岡山県青少年教育センターレン谷学校(岡山県備前市閑谷784)

講師: 晴佐久昌英神父
(カトリック多摩教会)

テーマ: 信仰の継承(仮称)



今年の中高生大会は50回記念ということもあり、例年の会長をはじめ、これまで中高生大会に参加された方々、また中高生大会に関心のあるすべての方々もお招きさせて頂く企画を進めております。

皆さんと共に、特に神戸教区の皆様には今からご予定頂き、参加くださいますことを、

『国連女性の地位委員会派遣を前に

教区人権担当・管区女性デスク クララ 吉谷かおる

毎年3月8日の国際女性デーを含む、約2週間、「国連女性の地位委員会」が、ニューヨーク国連本部で開催されています。

この会期に日本聖公会では、2005年から毎年2名の女性をACC(聖公会中央協議会)代表団メンバーとして派遣していました。

第57回(3月4~15日)の今年

は、笹森田鶴司祭(東京教区)と

吉谷が、本会議傍聴、ワークショップやサイドイベントへの参加、政府関係者への陳情等の活動をする予定です。

今年の優先テーマは「女性と少女に対するあらゆる形態の暴力の根絶と予防」です。

パキスタンで女性が教育を受ける権利を訴えた少女が銃撃された事件や、インドで女子大学生が集団暴行を受けて亡くなった事件の報道に衝撃を受けた方は多いと思いますが、日本でも配偶者間暴力、性犯罪など女性に対する暴力は大きな問題の一つです。

この会議に向けてよい準備ができるよう、また多くのものを持ち帰ることができますよう、どうぞおぼえてお祈りください。

(岡山聖オーガスチン教会信徒)

2013年度 神戸教区諸役員

2013年1月1日現在

《日本聖公会総会代議員》 聖職 司祭芳我秀一 司祭上原信幸、 信徒 大東康人 宮永好章	《宣教委員会》 2014年教区会まで 委員長 司祭小林尚明 委員 司祭瀬山会治 上野良雄 多井 剛 谷 瞳子 弘宗子 土井禮子 佐賀有道
《常置委員会》	《チャプレン》 教区婦人会 司祭瀬山公一 中高生大会 司祭長田吉史 補佐 池澤隆輝聖職候補生 青年交流会 司祭林 和広 補佐 杉野達也聖職候補生
委員長 司祭芳我秀一 書記 司祭小南 晃 司祭八代 智 橋口 満 宮永好章 大東康人	
《教区事務所》 2013年教区会まで	《伝道区長》 (神戸) 司祭原田佳城 (瀬戸内) 司祭角瀬克己 (広島) 司祭竹内 宗 (山陰) 司祭平野一郎 (徳島) 司祭瀬山公一 (西四国) 司祭柳本博人
教務局長 司祭芳我秀一 総務部長 司祭上原信幸 部員 司祭原田佳城 東 弘彦	
宣教部長 司祭小林尚明 部員 司祭林 和広 司祭長田吉史	《バランスメント対策委員会》 2013年教区会まで 委員長 松田宣子 委員 司祭角瀬克己 司祭原田佳城 佐賀有道 土井禮子 難波美智子 東 弘彦 吉谷かある
聖職候補生 池澤隆輝 杉野達也	
財務部長 大東正人 部員 飯田恵二	《教区審判廷審判員》 2010年11月～2014年11月 司祭芳我秀一 司祭小南 晃 司祭上原信幸 飯田恵二 清見美耶子 酒谷寛子
広報部長 司祭小南 晃 部員 司祭藤井尚人 司祭與賀田光嗣 司祭中原康貴 執事坪井 智 多井 剛	《主教座聖堂参事会》 2013年教区会まで 参事長 司祭上原信幸 参事 司祭芳我秀一 司祭藤井尚人 江見龍太郎 大東正人 原田里香子
厚生部長 飯田恵二 部員 大東正人	《神学生後援会》 2013年教区会まで 会長 主教中村 豊 幹事長 吉田 弘 幹事 覚前康子 福永君二 茶園正至
信徒役員 大東康人 東 弘彦 吉谷かある	
《財政委員会》 2013年教区会まで	《資産運用委員会》 2013年教区会まで
委員長 橋口 満 (神戸) 宮永好章 (瀬戸内) 加久清一郎 (広島) 谷 浩 (山陰) 寺澤敏彦 (徳島) 新藤恭司 (西四国) 野本忠江	委員長 松田嘉彦 委員 大東正人 大東康人 宮永好章 深田丈二
《聖職候補生養成委員会》 2014年教区会まで	《図書室運営委員》 委員長 主教中村 豊 委員 司祭小南 晃 大東正人
委員長 司祭芳我秀一 委員 司祭八代 智 上野良雄 芝 雅子 宮永好章	《管区届出担当者》 礼拝音楽担当者 原田里香子 人権担当者 吉谷かある 正義と平和担当者 司祭小林尚明 青年担当者 司祭林 和広 祈祷書改定増補モニター 荒井章三 管区宣教協議会 司祭小林尚明
《歴史編纂委員会》	
委員長 大東康人 委員 主教中村 豊 司祭竹内 宗 司祭河村博之 司祭與賀田光嗣 佐藤信友 吉田 弘	
《神学塾運営委員会》 2013年教区会まで	特別委員会
塾長 主教中村 豊 委員長 司祭藤井尚人 委員 司祭八代 智 司祭林 和広 司祭竹内 宗 吉田 弘 原田里香子	《広島平和礼拝実行委員会》 委員長 司祭小林尚明 委員 司祭長田吉史 執事坪井 智 有田二郎 河原和則 橋口 満 浜井美喜 山本風太 小林和真
《会計監査委員》	《パワーフルガソニ委員会》 委員長 原田里香子 委員 司祭上原信幸 司祭芳我秀一 司祭藤井尚人 大東正人 その他は未定
委員長 田中章喜 委員 佐々木稔忠	

